

横浜開港資料館クラウドファンディング 横浜エクセレンス限定リターン商品が登場




横浜開港資料館（所在：横浜市中区、館長：西川武臣、管理運営：公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団）は5月21日から実施中のクラウドファンディングについて、横浜市中区に本拠地を置くプロバスケットボールクラブ「横浜エクセレンス」（代表取締役社長 桜井 直哉）の協力を得て、横浜開港資料館と同クラブのマスコットキャラクターコラボ商品や、選手との交流イベント参加券等のリターン商品（返礼品）を提供することとなりましたのでお知らせいたします。

横浜エクセレンス提供リターン商品（返礼品）



横浜エクセレンスからは、クラウドファンディングのリターン商品（返礼品）として、ホームゲームチケットやマスコットキャラクター「Pick&Roll」×ペリー提督コラボグッズ、完成したバリアフリーデッキで開催する所属選手との交流イベント参加券が提供されます。

B2 リーグへの昇格をめざして 2024-25 シーズンを戦う横浜エクセレンスへの応援を通じてご支援ください。本クラウドファンディングは、ふるさと納税とは異なり、横浜市民の方でも返礼品を受け取ることが可能です。

名称： 内容： 価格：	Pick & Roll と応援！ 横浜エクセレンスマスコット×ペリーコラボグッズ マスコットキャラクター「Pick & Roll」と日米和親条約を締結の地に立つ横浜開港資料館ゆかりの「ペリー提督」をモチーフにしたコラボグッズ。	
名称： 内容： 価格：	ゲーム観戦で応援！横浜エクセレンス試合観戦チケット 2枚 横浜エクセレンスのホームゲームで開催される試合の観戦チケット。	
名称： 内容： 価格：	横浜エクセレンス「たまくすの木」デッキで選手と交流イベント参加権 1枚 クラウドファンディングが目標に達し成功した場合に、バリアフリーデッキを会場に開催する横浜エクセレンスの選手と交流イベント参加チケットです。	

横浜開港資料館 クラウドファンディング 実施概要

横浜開港のシンボルツリー
「たまくすの木」の木かげを
誰もが憩える空間に!

横浜開港資料館
YOKOHAMA ARCHIVES OF HISTORY

本年は安政元年（1854）にペリーが横浜に上陸し、日米和親条約が締結されてから170年の記念の年です。

ペリー上陸を見守り、慶応2年（1866）の火災と関東大震災という二度の大きな災害から復活した当館中庭にある「たまくすの木（横浜市地域史跡）」周辺について、バリアフリーデッキを整備します。

段差解消や狭い通路の改善を図り、誰もが憩える空間にするため、地域循環型のクラウドファンディングを実施中です。

名称：横浜開港の歴史を未来につなげる「たまくすの木」に憩うバリアフリーデッキを作りたい！
期間：令和6年（2024）5月21日（火）～7月19日（金）
目標：500万円（ALL or Nothing） ※目標に達しない場合、事業は実施しません。
プラットフォーム：READYFOR ※実施期間・名称等は変更の可能性があります。
主なリターン：開港資料館オリジナルグッズほか、近隣事業者が提供する商品やサービス



クラウドサイトへ

横浜エクセレンスと横浜開港資料館

横浜開港資料館を運営する公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団は、管理運営する各施設において、横浜開港の歴史およびバスケットボールをはじめとするスポーツ文化を活用した普及啓発事業を協働で実施することを目的に、令和6年1月18日に、株式会社横浜エクセレンスと協定書を締結しました。



令和6年1月18日の協定書締結の様子
右：横浜エクセレンス 桜井直哉 代表取締役社長
左：(公財)横浜市ふるさと歴史財団 佐藤信 代表理事



●株式会社横浜エクセレンス
・代表者 代表取締役社長 桜井直哉
・所在地 横浜市中区真砂町2-25 関内中央ビル4F K402号
・B3リーグ6位
・公式サイト <https://yokohama-ex.jp/>

横浜エクセレンスとの連携企画

横浜市ふるさと歴史財団と横浜エクセレンスでは協定書の締結を受けて、令和6年2月には、ホームゲームにおける「春節企画パネル展示 横浜中華街160年の軌跡」（横浜ユーラシア文化館監修）の開催をはじめ、横浜開港資料館の敷地内にあるミュージアムショップやカフェなどの複合機能施設「PORTER'S LODGE（ポーターズロッジ）」ではお買い物いただいたお客様へ、横浜エクセレンスの2023-24シーズンのホームゲーム招待券をプレゼントする企画を実施しました。

2024-25シーズンも連携企画を通じて、B2昇格を目指す横浜エクセレンスを応援していきます。

試合の来場者に向けて、幕末の横浜開港から、関東大震災・横浜大空襲を乗り越えて、160年あまりの歴史をつむいできた横浜中華街の歩み紹介するパネル展示を開催。



お問合せ先

(公財)横浜市ふるさと歴史財団 横浜開港資料館 Tel 045-201-2100
副館長 青木 祐介 担当：羽毛田智幸 広報担当：久保暢子、加藤七海